

◆◆お知らせ◆◆

※新規会員入会金無料キャンペーン実施中！！

29年度も続けて新入会員入会金無料キャンペーンを実施する事になりました。この機会に是非、お知り合いの建築士事務所の方に、ご入会を勧めてください！！（詳細は事務局まで）

◆重要なお知らせ

インスペクター講習(既存住宅現況検査調査技術者講習)の実施について

日頃から本会の事業運営にご理解とご協力を頂きありがとうございます。

さて、平成28年4月の宅地建物取引業法改正により、平成30年4月から既存建物現況調査の実施主体が、同調査に係る講習を修了した建築士とされることとなりました。本会は日本建築士事務所協会連合会と連携し、既存住宅状況調査技術者(インスペクター)の講習実施を予定しております。講習会は本年10月～12月の開催を予定しております。

詳細は決定次第、会員の皆様にお知らせ致します。

また、今回の法令改正に伴い、すでに住宅瑕疵担保責任保険協会の既存住宅現況検査技術者の方、日本建築士会連合会他のインスペクター登録をされている方も、来年4月以降既存住宅現況調査業務を行うためには、フォローアップのための(移行講習)を受講して頂く必要があります。

本会では移行講習もあわせて開催する予定です。

会員の皆様には、ぜひ本会が主催する講習会を受講頂きますようご案内します。

詳細は決まり次第、本会HP、神事協情報メール、会報同封チラシ等でお知らせします。

〈今後の講習会等開催日程のお知らせ〉

◆講習会

建築物等調査鑑定業務研修会

日 程:平成29年8月7日(月)

会 場:横浜情報文化センター 情文ホール

詳細は後日、お知らせいたします。

◆イベント

スポーツ大会

日 程:平成29年11月25日(土) 予定

担 当:横須賀ブロック

詳細は後日、お知らせいたします。

◆第41回建築士事務所全国大会(和歌山大会)

テーマ:時を紡ぐ明日へと ~歴史・文化・自然~

開催日:平成29年10月6日(金)

場 所:和歌山県民文化会館(和歌山市)

詳細のご案内は、6月末～7月上旬にいたします。

◆イベント

賀詞交歓会

日 程:平成30年1月22日(月)

会 場:ロイヤルホールヨコハマ

詳細は後日、お知らせいたします。

広報情報委員会からのお知らせ

広報誌への原稿のお願い

「建築探訪」「会員仕事紹介」「旅行記」「表紙写真」

原稿を募集しております。事務局まで、どしどしご応募ください。

瓦版担当:広報情報委員会



「鯛がとれたよ！」 地引網大会

ブロック支部委員会 副委員長 黒部 光司

4月22日(土) 昨年よりは一月ほど早く恒例の地引網が行われました。
東京会からの参加も含め大人113人子供43人で10時半に開会。
暑くも、寒くもなく、おまけに曇り空で紫外線も少ない天気で女性陣は喜んでいました。
地引網の引上げが予定の11時から12時過ぎに急遽変更のアクシデント。



まずは飲もう、食べようということになり、ブロック支部委員・事務局員がバーベキュー班、焼きそば班、フランクフルトソーセージ班に分かれて奮闘、自慢の腕を振るいました。

「おいしいー」この一言がスタッフの遣り甲斐です。

お腹が膨れた頃合いを見て、「ハーイ、ヨーヨー釣りをはじめるよー」ヨーヨープールには人垣ができ、子供たちはお父さんお母さんに教わりながらヨーヨー釣りに挑戦。

砂に埋もれている宝探しでもワイワイ、キャーキャーと大はしゃぎでした。

12時半になって、お待ち兼ねの地引網の引き上げ開始、殿網のスタッフさんの指示で左右に分かれ、「休むなー」「がんばれー」、掛け声をかけあいながら網を引いているうちに最後尾の袋網が上がってくと大歓声、シコイワシの群れの中にキス、ヒラメ、イナダ、そして黒鯛もいました。

シコイワシは小袋にいられてお土産に、大物(45cm)の黒鯛は磯部さんが下処理して、バーベキューの鉄板で塩焼きにして頂きました 「美味かった！」

事故もケガもなく無事に楽しく終わることができました、皆様のご協力に感謝です。

そしてブロック支部委員、事務局の皆様お疲れ様でした。

「ホシノタニ団地見学会」報告

マンション等の大規模修繕業務専門委員会 委員 前砂 雅弘

4月25日(火) マンション等の大規模修繕業務専門委員会による「ホシノタニ団地見学会」に参加しました。

相模大野から小田急線で座間駅に近づくると左側にホシノタニ団地が見えて来ます。

「ブルースタジオ」,「グッドデザイン賞」などの断片的な記憶から「最先端」を想像して行きましたが、そこに見えたのは昔ながらの『RC造階段室型公営住宅』に類する姿そのものです。

長く閉鎖されていた小田急電鉄社宅のリノベーションであることを配布された資料で確かめた後、敷地内を見学。

その後、建物内にある「農家カフェ」に集まり、座間市職員の丁寧なお話を聞くことができました。

計画の概要は建築後40年の4棟からなる集合住宅の再生というものでしたが、興味深いのは4棟のうち2棟は小田急不動産が扱う賃貸住宅。

他の2棟は座間市が市営住宅として借り上げている、つまりこの再生計画には行政が合流しているということです。

団地のリノベーションとして資料を読む限りでは楽しげではあるものの車窓から得た第一印象は変わらないこと、説明が設計者ではなかったことから、今回の見学会の目的が建築技術的、造形的分野にあると言うより、計画の実現に至る経緯を辿り、新たな仕事の分野を生み出したアイデアをそこに見つけることにあったのだと私なりに理解することができました。

しかし、そう考えると、別の機会にさらに詳しくこの仕事の創出について、これに関わった人をゲストに招き、講演会などが実施されるとよいと感じました。

